

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
6	植松 光徳（8）	<p>1. 富士市における介護人材の担い手不足の対応について</p> <p>本市においては、今後高齢化が加速度的に進み、2025年には29.2%、2040年には36.2%に増加すると見込まれています。高齢者が住みなれた地域で安心して過ごすためには、医療や介護サービスを安定的に供給できる財源と、介護の担い手を確保することが一層重要となります。</p> <p>そこで、本市における介護人材の担い手不足の対応について、以下質問いたします。</p> <p>(1) 本市においてどのくらい介護サービスの担い手が不足していると把握し、今後新たな担い手がどの程度必要であると試算しているのか。</p> <p>(2) 介護人材確保のため、富士市では、介護事業者や働く人への支援策の中で介護職員初任者研修制度の費用補助があるが、実務者研修や介護福祉士の資格取得費用を補助してはどうか。</p> <p>(3) 現に拡大している外国籍の介護職員の雇用や育成などの支援を行政が行うことも検討すべきだと思うが、市の見解を伺う。</p> <p>(4) 潜在介護福祉士等の再就職支援推進といった取組はどのように行っているのか。</p> <p>(5) 小規模の事業所経営が困難になっている中、社会福祉連携推進法人を設立し緩やかな連携を組むことで人材確保に寄与できると考えるが、設立を本市がサポートしてはどうか。</p>	市長 及び 担当部長